

平成 25 年 1 月 4 日

## 年 始 挨拶

北口 治

新年明けましておめでとうございます。

皆さんは年末年始の休みをどのように過ごしましたか？ 私は奈良の田舎に帰っていましたが、思ったほど寒くない正月でした。

昨年は山中教授のノーベル賞受賞や世界一のスカイツリーの開業など、明るい話題がたくさんありました。一方、尖閣諸島国有化にともなう中国の反日運動や、竹島・北方領土への韓国・ロシアの大統領の強硬訪問など、防衛や領土問題について真剣に考えさせられる事件も多発しました。世界ではアメリカのオバマ大統領、中国の習近平総書記、ロシアのプーチン大統領をはじめ、各国のリーダーが交代あるいは再選されました。日本も総選挙で自民党が圧勝し、民主党に代わり3年ぶりに政権与党に復帰しました。経済面では、自動車の生産が回復し堅調であったのに対して、TV 不況から脱することができない大手家電メーカーの業績不振が目立ちました。

今年はどのような年になるのでしょうか？ 2011 年の干支は「辛卯(かのとう)」で、その意味は「新陳代謝により新たな発展に向かう」でした。2012 年の「壬辰(みずのえたつ、じんしん)」は「従来の社会の仕組みを変える」ということでした。そして今年 2013 年は「癸巳(みずのとみ)」で、「大転換の前夜に臨む」ことを意味しています。すなわち昨年に引き続き、新しい時代の幕開けに向かって、いよいよ仕上げの最終段階に突入することを示しています。我々を取り巻く現実の社会状況を見ても、まさに新しいステージに向かう過程の生みの苦しみとも言える状況が続いています。

このような激動の時代においては、変化することを常態と認識して、むしろ変化を発展のエネルギーに転換する進み方こそが求められます。我々 NPC もそのための活動をさらに強化しなければなりません。変化の早い状況下では、今日の CORE ビジネスはもう明日には衰退して行きます。そのため常に NEW ビジネスの開発が必要であり、それは過去に比べてより強く早く多く求められています。中期計画「CS2014」の基本方針は、「CEBON」戦略の実行です。2 年目の今年はその成果を確実なものにしなければなりません。日本の強みに焦点を当てた「超エンブラ」ビジネスの開発、真の市場ニーズを探り対応することや新しいニーズを創出するための「エンドユーザーマーケティング」、グループ製造会社との協業で付加価値の高い商品を作り展開する「ブランドビジネス」にさらに注力して、強固な NPC の明日を築かなければなりません。そのためにはそれを推進する柔軟な思考力と勇敢な実行力が必要です。昨年一年間、

東西で学習会準備委員会を開催してきましたが、今年1月から本格的に「学習会議」をスタートさせます。毎週、大阪と東京でメンバーを入れ替えて開催します。この変革の時代を知恵と工夫で切り拓き、変化をビジネスに転換できる人材と能力を醸成したいと思います。

朝礼でも話しましたが、冒険家の三浦雄一郎さんが今年80歳で3回目のエベレスト登頂に挑みます。日頃の鍛錬と努力により、驚くべきことに20代の骨密度と40代の筋力を維持できているとのこと。三浦さんが言うには、「努力が成果に結び付くためには、『このようになりたい』とか『あのようになりたい』という夢や目標が一番大切だ」とのこと。夢があればこそ、それを成し遂げるための勇気や元気が湧いてきます。「夢」と「元気」、これが今年を乗り切るためのキーワードだと思います。日本は風光明媚な自然に恵まれ、資源が豊かな海に囲まれています。その海は世界第6位の広さと世界第4位の大きさを持ち、「元気」の素が満ち満ちており、未来への発展の「夢」が無限に広がっています。

NPCもその大海原を「世界一のプラスチック専門商社」という大旗を掲げて雄々しく進んで行きたいと思います。「はたらく」と「あきない」を前進の両輪にして、「CEBON」の風で帆を一杯に膨らませ、やりがいと陽気に満ち溢れた「The Joyous Work」を実践しましょう。

2013年の仕事が今日から始まりますが、皆さんにとって良い年になることをお祈りして年頭の挨拶としたいと思います。

以上